

はつかいち 甘日市のおいしい食べ物^{た もの きゅうしょく}を給食でつかってるよ！

たべもの新聞

Vol.20 きんかん

平成27年3月3日 廿日市学校給食センター

きんかんの栽培の様子を紹介します!!
—宮内の梶井さん—



梶井千鶴子さん

梶井さんのきんかんが給食に登場します!!

小学校：3月16日(月)
中学校：3月5日(木)



給食用に、大きくて色づきのよい木を確保して下さっています♪

梶井さんは、今から約8年前からきんかんを育てておられます。畑には約200本のきんかんの木が植えてあり、旬を迎えた今の時期には、色鮮やかなきんかんがたくさん実っています。「きんかんは丸ごと食べる果物なので、肥料はたい肥を使い、農薬は使わないなど、食べる人にやさしいきんかん栽培をしています。おいしいきんかんを食べてきんかんを好きになってほしいし、食べる時は丸かじりしてほしいですね。」と話しておられました。

肥料を与える・剪定する



枝にまだ実が残っている5月になると、木の根元にたい肥(有機肥料)

をまきます。落ちて実も栄養分となります。

実を大きくし、色づきをよくするために、不要な枝を切る剪定作業も行います。

5月頃

花が咲く



5月から7月にかけて、枝のあちこちで、小さな白い花が順番に咲き続けます。5月の花の実は落ちやすく、7月の花の実はきちんと成長する傾向があるそうです。

5月～7月頃

実がつく



花が咲いた後には、緑色の小さな実がつきます。太陽の光を浴びながら、直径2～3cmまで成長していきます。

緑色の実はだんだんと色づいてきます。



色づく



1か所にできる実の数が少ないほうが大きな実に育つため、時間があれば摘果します。

1月になると収穫の時期を迎えます。はさみを使って1個ずつ収穫していきます。



1月～5月頃

収穫する

こんな被害がありました



鳥の被害...ヒヨドリ
防鳥ネットの中にまで入って実を食べてしまいます...



虫の被害...貝殻虫
木が弱ってしまいます...



雪の被害
雪の重みで枝が折れてしまいました...